

# 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

## 第 8 回 運営委員会 議事録

### (1) 日時

---

2020 年 6 月 29 日 (月) 10 時～11 時 30 分

### (2) 会場

---

Teams オンライン会議

### (3) 参加者

---

#### ① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	森山忍
岡山 NPO センター	石原達也
ひろしま NPO センター	松原裕樹 (代理：松村渉)
やまぐち県民ネット 2 1	伊藤彰

#### ② 事務局

とっとり県民活動活性化センター	谷佑基、松林安美
岡山 NPO センター	北内はるか
ひろしま NPO センター	松村渉

## (4) 議題

---

### ① 2019 年度実行団体の状況共有

各県担当 PO より、事業の進捗報告を行った

島根県：たすき

2020 年 6 月 1 日に資金提供契約を結び、6 月 19 日に 2020 年度前半期分となる 7,350,000 円を振り込んだ。

6 月 24 日に、たすき担当者、担当 PO 森山および広島 PO 松村の 3 者で、経理事務に関するレクと質疑応答を行った。

岡山：子どもシェルターモモ

資金提供契約に向けた 3 種計画書（事業、資金、評価）が完成し、現在、JANPIA 担当者の確認を待っている所。コロナの影響等もあり予定より遅れたが、問題がなければ 7 月 1 日に資金提供契約を締結する予定。

コロナ対応型休眠預金（2019 年度実行団体支援枠）についても申請を行っており、その採否について JANPIA からの返答を待っている。

主な申請理由は、当初計画で予定している研修等についてコロナ（オンライン）対応が必要となり、その為の備品や設備への補充。

広島：湯来観光地域づくり公社

前回運営委員会で報告した通り、2020 年 4 月 26 日に資金提供契約締結済み。その後、5 月 29 日に 2020 年度前半期分の 6,150,000 円を振り込んだ。

先に運営委員にて事業計画を確認して承認した通り、2020 年度助成総額 7,350,000 円の 83.7%にあたる 6,150,000 円を振り込んだ。

コロナ対応型休眠預金（2019 年度実行団体支援枠）についても申請を行っており、その採否について JANPIA からの返答を待っている。

主な申請理由は、コロナの影響を受け当初計画のベースとなった観光業のモデルそのものの見直しが必要となったことの、計画変更に向けた調査やコンサルティングへの補充。

広島：NPO 狩留家

2020 年 6 月 23 日に資金提供契約を結び、6 月 29 日現在では助成金振込に向けた休眠預金システムへの登録を待っている状況。

システムへの登録が完了し次第、2020 年度前半期分の 6,200,000 円を振り込む予定。

先に運営委員にて事業計画を確認して承認した通り、2020 年度助成総額 7,200,000 円の 85.4%にあたる 6,150,000 円を振り込む予定。

## ② 休眠預金 2020 年度通常枠への申請について

### ■JANPIA による公募説明会の共有

2020 年 6 月 25 日に実施された JANPIA による公募説明会の情報を共有した。

連続より、初回の団体を優先するとの旨が説明会で示されたが、当コンソについては以下の理由から改めて申請することとした。

- ・2019 年度は 3 県での実施であり、5 県で実施する今回は昨年度と別事業
- ・実施体制（主に担当 PO）への不安についても、各県単位で見ると 1 県あたり 1～2 案件程度であり、JANPIA 鈴木氏が示されていた 1PO あたりの担当案件数 5 件という目安から見ても十分に実施できる

また、森山氏が JANPIA に対して多くの団体採択と空白地域のバランスについて質問したところ、まずは内容を見る、空白地域を無くすことは前提になっていない、審査の中でバランスを見る、全国枠があるから空白枠がないという風には考えていないとの回答があった。

### ■中国 5 県としての大きなランドデザイン

ランドデザインについては 2019 年度の提案を基本とし、大きな方向性を描くものとした

くらし続けられる中国地方

地方の消滅

地域格差、所得格差など様々な格差の是正

当コンソおよび各構成団体にとっての目指すものと、休眠預金が目指すものが一致しているため、事業のために企画を書く必要性はなく、また、採択されることを目的とした事業ではない旨を確認した

### ■助成金額、採択件数について

2019 年度と同様に、各県あたり 2,000 万円とし、5 県で実施することから 1 億円とした。

なお、支払助成金の上限が 1 億円で、管理的経費や評価関連経費、PO 関連経費を含まないのか、含んだうえで 1 億円なのかの確認が必要。

このことについては事務局において確認することとした。

採択件数については、各県のテーマや状況によるが、おおむね 1 県あたり 1～2 団体を想定する旨としたよって、1 案件あたりの助成額は 1,000 万円～2,000 万円程度となる旨を確認した

これらについては、公募要領作成まで継続してヒアリング等の調査を継続し、妥当な選定である旨を確認して決定することとした

5 県内において助成額を融通することについては、案件形成を進めたうえで再度検討することとした

### ■各県のテーマ案について

各県の運営委員および担当 PO から、2020 年度通常枠で取り上げるテーマについての意見交換を行った。それぞれの地域性等を考慮して、ここで提案されたテーマをもって申請を行うこととした。

◎…主、○…副

JANPIA 領域	JANPIA 分野	鳥取	島根	岡山	広島	山口
1)子ども及び若者の支援に係る活動	①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援			◎		◎
	②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援	○		○		
	③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援	◎		○		
2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	④働くことが困難な人への支援	○	○			
	⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援	◎	◎			
3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	⑥地域の働く場づくりの支援		◎		◎	
	⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援		○		○	◎

#### 鳥取

JANPIA の分野分けで言うと 2) の日常生活困難への支援。

具体的には引きこもり支援、ろうあ者支援を検討している。

1つのテーマとして提案するか、2つのテーマを立てるかについては現在検討中。

あまりテーマを絞り過ぎると申請できる団体が少なくなる懸念もある。

#### 島根

現在 3 案件について検討している段階。

まだ決定には至っていない。

外国人の就労問題、昨年度と同様のコミュニティビジネスによる地域振興、引きこもり支援のいずれかの予定。

#### 岡山

昨年と同じテーマを想定。

昨年の公募説明会への参加者の数など、まだニーズは高い。

#### 広島

昨年と同じテーマを想定。

一方で、中国 5 県全体のバランス、連携強化などの側面から、他県テーマに合わせて変更も想定。

#### 山口

子ども食堂の調査を通じて、貧困家庭の子育て体制構築と、コロナを意識した地域づくりを想定

#### ■申請に向けた各構成団体の作業等

コンソ全体像の企画については広島において案を作成することとした

各県テーマについては、それぞれ担当県が事業計画及び ToC を作成することとした

出口戦略を想定した案件形成を行う

CB のようにビジネスモデルで示せるものは持続可能性を示しやすいが、収益モデルが困難な分野、事業については十分な出口戦略をもって取り組むこととした

これらの案件形成については各県担当者が密に連絡を取り合いながら、相互の保管しつつ作成することとした

コンソーシアム誓約書、協定書、構成団体の役員名簿、規定類についてはその進捗状況を確認した  
上記の作業等については7月20日（月）を締切りとするスケジュールを進めることを確認した

### ■資金計画について

広島案として以下の提案があり、申請までに十分に議論することを踏まえ、承認された。

概要（2020-2023年：42ヶ月）

助成金総額	157,137,240 円
実行団体への支払助成金	100,000,000 円
実行団体の評価関連経費	5,400,000 円
管理的経費	17,592,240 円
PO 関連経費	27,728,000 円
評価関連経費	6,417,000 円

各県分配（2020-2023年：42ヶ月）

広島	15,106,648 円
他（1県あたり）	9,157,648 円

■審査委員について ※この項目は公平な審査に係ることになるため、実行団体との資金提供契約締結までは公開しない

審査委員については2019年度と同じ委員の皆様へに打診することとした

審査委員会はオンライン参加も可能であることとし、出来る限り引き受けていただけるように依頼する  
ご辞退があった際には、改めて運営委員会において協議を行い候補者を検討することとした

なお、2020年度コロナ枠についても、採択された際には同じ委員の皆様へに打診することとした

コロナ枠については緊急性の面から8月中の審査が予想されており、新たな候補者を検討することが困難な際は、運営委員会以外のコンソ構成団体役員または職員から、1/2を超えない範囲で審査委員とすることとした。

なお、その際はコンソ構成団体役員という理由ではなく、中国地方のNPO等市民活動の専門家という立場で委員を選考または推薦することとした

### ■POについて

JANPIA 研修を未履行の鳥取、山口については、必ず研修に参加する人材を立てる  
昨年と同様に 3 枠を頂くことができた際は、広島から 1 人を追加で立てたい  
採択されたのち、改めて確認することとした

### ③ その他

石原委員より、香川県での公募についてのアイデア提供があった

四国の状況（休眠空白県）について、四国の中間支援組織等から情報をもらっている

現状では単独、コンソでも提案することが難しいと聞いている

例えば、岡山県案件に対して、香川の団体も提案できるようにするなど、四国にも草の根地域枠の助成金を届ける工夫を検討したい

すぐのことではないと思うが、場合によっては中四国枠といった形で、ネットワークの輪を拡大することもあって良いのではないか

このアイデア提供に対し、今年度の申請において中四国コンソーシアムを組むことは時間的にも、関係性からも困難であることから、見送ることとした。

一方で、岡山案件において香川県の団体を対象にするなど、既存のコンソーシアムの枠を組み替えない範囲では引き続き検討することとした

また、来年度以降については中四国コンソーシアムについても調査や話し合いなどを進め、再度検討していくこととした

## (5) 資料等

---

資料1 2020年度事業計画案

資料2 2020年度資金計画案

以上で議事のすべてを終了し、11:30に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2020年7月1日

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長

松原裕樹



運営委員

毛利葉



運営委員

森山忍



運営委員

石原達也



運営委員

伊藤彰

